

水の恩恵がどうなっているか、ということであろうかと思われれます。

しかし、私たちはこゝらあたりでもう一度、二十八年の六・二六やそれから四年後に起つた三十二年の七・二六などの災害について、じっくり考えてみることも必要ではないかと思われれます。

それは災害がなぜ起つたかということであり、又それによつて私たちは何を学び取つたかということでもあります。

台風だとか大雨だとかいうものは、人為をもつて避けることのできない自然の現象であり、又これが気象の条件によつて例年決つて本県を襲うところに、どうにもならぬ災害の要因もあるわけです。

た、つた山林の乱伐……★

本県史上に初めてだと云われた六・二六災害の誘因を考へてみても、山地に育つていた樹木を戦前から乱伐したためにすつかり荒山もふえてきて、降りつづく雨水を思うように吸収しきれなかつたこととあり、ついに山津波や地すべりなどの恐ろしい事態までひきおこしたということとです。

いっぽう河川はどうであつたかといふと、これも戦後の荒廃した状態ではありましたが、それでも乏しい財政の中から逐次河川の改良補修をやつてきたにもかかわらず、やはり全面的にみますと河川に必要な施設や改修はだいぶ遅れて

つまり台風も大雨もすべて自然に委ねられた宿命だともいえましよう。従つて、私たちが住む郷土の自然がそなえている山や川がそれにならざるかどうにかによつて、災害が起るか起らないかということも云々されてくるわけですね。

本県のこれまでの気象災害をふりかへてみますと、「風」の被害よりも「雨」による被害の方がずつと大きかつたわけですね。

六・二六災害にしろ、七・二六災害にしろ、すべて五百ミリをこえた豪雨に見舞われたことが、そのいゝ例で、雨量と云うのはそれだけ山地や河川に鋭敏に作用をおこす性質のものでした。

六・二六水害では九一億、罹災者三八

万人、また三十二年の七・二六水害でも六六億、罹災者一五万人という怖るべき水魔の爪あとをもちたらしめたわけ、強いてそれらの特徴をとりあげてみるならば

水防管理は町村で

水防法の一部改正

ご承知のように、今年「水防法」という法律ができてから、ちょうど十年目

六・二六の場合には「泥害」ということとあり、七・二六の場合には「山津波」ということが云えるのではないのでしょうか。

はりきる水防演習 (飽託郡松尾村)



に当るわけですが、例年となくつゞく水害を積極的に防除するために、昨年その法律の内容が一部改められています。これを少し説明しますと、従来市町村の消防団を形成していた水利組合や土地改良組合などを一本にまとめて、これを「水防管理団体」として直接市町村役場が管理することにその義務づけを行い同時に責任を明確にしたということです。従つて、これからの水防組織や指揮態勢がこの法律によつてすつきりとされ、水防活動も統一された機能性をもつてきたこととなります。

私たちは、これまでの体験の中から、水害に対する認識を年とともに高めてきましたが、それと同時に、いつたいどうしたら私たちの生命、財産を水魔から守り抜くことができるか、と



ほしい季節保育所

農繁期に救いの神

農繁期に農家をまわつてみますと、家族のうち働いていくため、家に残る乳幼児が置きざりにされていく風景をよく目撃します。これは或るところで起つた事故であり、親子が三才になつた子供を田圃と一緒に連れて行き、田圃のあぜ道で遊ばしていたところ、ちよつと目をはなした間に用水路に落ちこんで、息を止めたということもあ

慣がついて手のつけられないような子供になつてしまつたというのなわがわいがおきています。このような事故をふせ、家庭の人達が安心して仕事に精出すのが季節保育所の役目です。この季節保育所は、法律に基づく保育所(一年中開設している常設保育所)とちがつて、農業とか漁業とかその地域で仕事の忙し

遊びによる火事などがあつたところ、起つては二五〇ヶ所と急激にふえてきました。設置に要する費用も一ヶ所当り国庫から三、〇〇〇円、県から三、〇〇〇円の補助がありますが、この補助金を受ける要件としては、まず設置主体が市又は町村でなければなりません。婦人会や地域の社会福祉協議会等に委託して経営しても差支えないことになってい

その外、こゝで多くのお知らせするものが、水防活動に驚異的な働きをもつ「超短波無線装置」のことです。これは、河川の水位や堤防の状況などを直接現場で確認しながら、刻々それを管下の県土木事務所へ連絡しますと、超短波無線装置の基地局となつていて土木事務所では、さつそくそれを固定局の本部(県庁の河港課)へ送信して、水防本部の任務を機敏に遂行させることになつてい

活躍する超短波無線

次に、パトカーは現在のところ本部の二台だけですが、本年度は松橋、八代、人吉の各土木事務所一台づつ、配置されることになつてい